

22Hのみなさん、久しぶりです。お元気ですか。

生徒のいない学校はひっそりと静まっていて寂しい。そんなとき、錦路を見たり、授業を思い出したりする頬が緩んできます。授業はとても楽しかった。そのことを思い出します。例えば授業で君たちに問いかけると、ぽんぽんと返事が来る。それについてまたつっこんで聞くと、また別の人からも声が返ってくる。そういったやり取りが続く中で、自分は自然に熱くなり、声が大きくなっていきました。とても楽しかったです。

数学の教科書などの解説文は少しいかめしい感じがします。「なにかわかりにくいなあ」と感じることも多いです。評論の文などと比べると数学の文は短い。けれども何を言っているのかわからないことが多い。それは一つ一つの用語や使われている記号の意味がぼんやりしているからです。こんなとき、数学の用語や記号の意味を調べてたどっていくと、高校1・2年の教科書だけでなく、中学の教科書までたどり着くことがあります。今までに習って知っていることを確かめながらさかのぼっていくことは、けっこう時間がかかるのですが、理解できてすっきりすると嬉しいものです。じっくり調べることで「ああ、そういうことだったのか」と数学の本質がわかってきます。解説を丁寧に一文ずつ理解していくことで、今まで見えていなかった新しいことに気がつけます。

今の時期はじっくりと数学につきあういい機会だと思います。ぜひやってみてくださいね。

22H 副担任 山口直美